

◎7. 8地震・津波避難訓練 自主防災会・町内（区）会アンケート集計表

1 アンケート用紙回収率

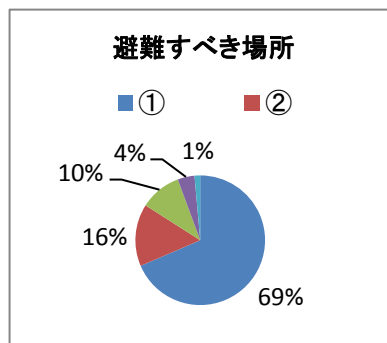
	発送数(組織)	回収数(組織)	回収率
本庁	191	108	56.5%
河北	29	29	100.0%
雄勝	8	8	100.0%
河南	39	26	66.7%
桃生	29	29	100.0%
北上	6	6	100.0%
牡鹿	8	8	100.0%
計	310	214	69.0%

2 参加者数等(アンケート回答組織のみ)

	地区世帯数	地区住民数	参加世帯数	参加住民数
本庁	24,348	60,293	4,822	9,053
			19.8%	15.0%
河北	2,402	6,611	1,191	2,189
			49.6%	33.1%
雄勝	208	412	115	328
			55.3%	79.6%
河南	3,142	8,339	1,124	1,507
			35.8%	18.1%
桃生	1,944	5,206	894	1,541
			46.0%	29.6%
北上	366	697	100	355
			27.3%	50.9%
牡鹿	670	1,369	238	420
			35.5%	30.7%
計	33,080	82,927	8,484	15,393
			25.6%	18.6%

3 組織等では、避難すべき場所を決めていますか？

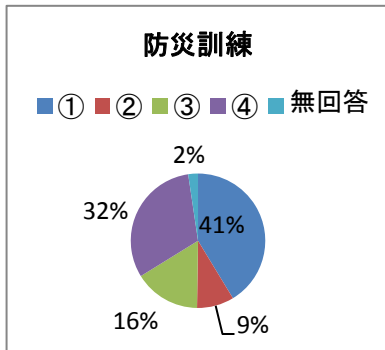
回答項目	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計
① 防災会、町内(区)会として決めている	63	21	6	22	26	1	7	146
② 明確には決めていない	21	6	0	3	1	1	1	33
③ 各世帯で決めてもらっている	16	2	1	0	1	2	0	22
④ 決めていない	7	0	0	1	0	1	0	9
無回答	0	0	1	0	1	1	0	3



※避難すべき場所は殆どの組織や世帯で決めている。

4 貴組織等では、毎年、防災訓練を実施していますか？

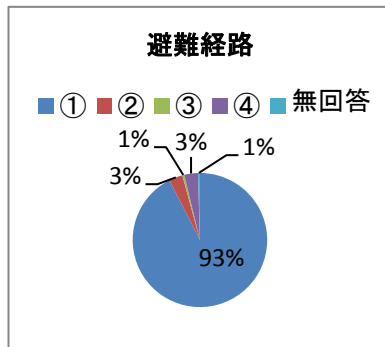
回答項目	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計
① 毎年実施している	30	5	5	14	26	1	7	88
② 2年に一度くらい実施している	13	3	1	1	1	0	0	19
③ 数年に一度くらい実施している	25	1	0	6	2	0	0	34
④ 実施していない	37	18	2	5	0	4	1	67
無回答	2	2	0	0	0	1	0	5



※毎年、訓練を実施している組織等は41%となっている。  
 ※訓練を実施していない組織等も32%ある。

5 避難経路は、おおむね安全でしたか？

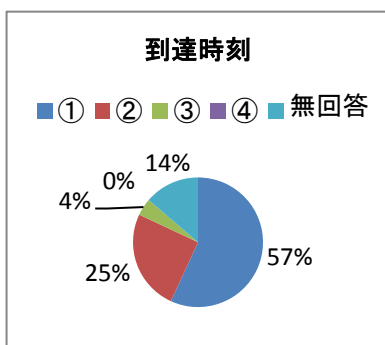
回答項目	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計
① おおむね安全である	94	28	7	25	29	6	8	197
② 一部危険箇所がある	6	0	1	0	0	0	0	7
③ 障害物があり、通行できない	1	0	0	0	0	0	0	1
④ 避難はしなかった	6	1	0	0	0	0	0	7
無回答	0	0	0	1	0	0	0	1



※避難するための経路はおおむね安全な状況となっている。

6 おおむね津波到達予想時刻（30分）で避難できましたか？

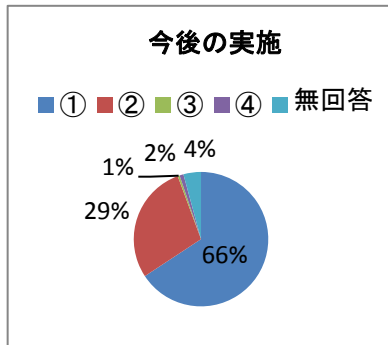
回答項目	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計
① 全員30分以内で避難できた	62	16	5	9	17	4	7	120
② おおむね30分以内に避難できた	30	10	2	6	2	2	1	53
③ 30分以上かかった者もいた	5	1	0	0	3	0	0	9
④ ほとんど30分以上かかった	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	10	2	1	9	7	0	0	29



※殆どの住民が30分以内で避難できている。  
 ※ただし、30分以上かかった住民も4%いる。

7 市では、今回初めて全市的な避難訓練を実施しましたが、今後も実施すべきと思いますか？

回答項目		本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計
①	毎年実施すべき	57	20	8	20	21	6	8	140
②	数年に一度実施すべき	43	7	0	4	7	0	0	61
③	組織等で実施すべき	0	0	0	1	0	0	0	1
④	必要はない	1	0	0	0	1	0	0	2
	無回答	6	2	0	1	0	0	0	9



※避難訓練は、ほとんどの組織が実施すべきとしている。  
 ※組織等だけで実施すべきとしているのは1%であるが、コメントの多数意見として、全市一斉ではなく地域毎、ブロック毎に実施した方がいいという意見も多数あった。

8 市では、今後どのような訓練をすべきと思いますか？

多数意見

- ・3.11を風化させることのないよう今回同様の訓練を毎年実施すべき。
- ・地域ごと、ブロックごと、沿岸部と内陸部に分けて行った方がいい。

その他

- ・洪水や雨水対策の訓練を実施すべき。

9 訓練の反省点・感じたこと

多数意見

- ・参加者数が少なかった。
- ・若年層や子供の父母世代の参加が少なかった。
- ・高齢者や障害者など災害時要援護者の避難のあり方を検討すべき。

その他

- ・非常用持出品を持ち出して避難する人が少なかった。
- ・元気のある人は真剣に考えていない、高齢者だけが真剣に取り組んでいた。
- ・町内会でもなんとか若年層の参加を勧めたい。
- ・参加者を増やすため小学校、PTAとの連携が必要ではないか。

10 市への要望・意見

多数意見

- ・防災行政無線が聞き取りにくかった。
- ・防災行政無線の早期の増設を望む。
- ・防災行政無線の難聴地区を解消して欲しい。
- ・避難道路、避難ビルを早期に整備して欲しい。

その他

- ・訓練の内容はもう少し早めに教えて欲しい。（町内会の訓練を7月3日に実施）

11 まとめ

(1) 参加者数について

- ・市が行った指定避難所、避難目標地点での訓練参加者数の確認では12%であったが、アンケート調査の集計では、参加世帯数は25.6%、参加者数でも18.6%となっている。
- ・組織等での集計は、あくまでも実際に避難した人数の集計であるので、各自宅で初期行動の確認や非常用持出品等の確認や自宅の2階に避難を行った人数は不明である。
- ・どの組織でも、20代～40代の参加が少ないようである。子供たちの参加を含め、今後検討が必要である。

(2) 訓練内容について

- ・やはり東日本大震災の経験を踏まえ、津波に対しての避難訓練を実施すべきという意見が多い。また、地盤沈下していることもあり、洪水や雨水対策に対応した訓練の実施、原子力発電所に対する事故対応の訓練の実施をすべきとの意見もあったので今後検討が必要である。
- ・全市一斉の訓練については、実施すべきとしている組織が多いが、一方で沿岸部と内陸部に分けて地域毎、ブロック毎の実施の方がいいという意見も多い。
- ・今回は「とにかくにげっぺ！」のスローガンの下、避難経路、避難所要時間の確認を主として実施したが、今後は災害時要援護者への対応、安否確認等について、市からの指導や訓練の実施の意見が多く、今後検討が必要である。

(3) 避難場所、避難経路等について

- ・組織又は各家庭で避難場所は決めているようであるが、学校などの指定避難所に逃げると決めている住民が多い。また、組織で避難場所を決めず、住民個人に任せると、避難後の安否確認が組織として困難であるという意見がある。
- ・高台等に避難しても、雨風を凌げる施設がないため、市で整備して欲しいという意見があり、検討が必要か。
- ・避難経路については、道路の復旧が進み、危険箇所や障害物はないようである。しかし、要援護者対策や津波の浸水の恐れのない地域への避難については、車両による避難が予想され、避難道路の整備が必要か。

(4) その他

- ・防災行政無線が聞こえない、聞こえづらいという意見がやはり多い。サイレンは聞こえるが内容が分からないといった意見も多く、マストの増設や戸別受信機の配備など今後検討が必要である。
- ・至る所で防災行政無線が聞こえづらいという意見が多いため、防災行政無線に頼らず、ラジオ等の活用などをもっと住民にアピールすべきといった検討も必要か。